

2019年度第3回中京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 御在所特別

御在所（ございしょ）は、三重県三重郡菰野（こもの）町西部にある鈴鹿山脈の主峰。標高 1,212m。鈴鹿国定公園に属し、山頂に通じる大規模なロープウェイや展望台が設けられている。

○ 知多特別

知多（ちた）は、愛知県南西部の半島、また同半島北西部の市。沿岸部の工業地帯には発電所や製油所などがあり、内陸部では米・麦・園芸など農業も盛ん。

○ 白川郷ステークス

白川郷（しらかわごう）は、岐阜県北西部、大野郡の庄川上流域の一帯。同地特有の茅葺家屋は、日本の木造家屋の中でも特徴的かつ合理的な造りをしているため、富山県南砺市の五箇山とともに、『合掌造り集落』としてユネスコの世界文化遺産に登録されている。

<第2日>

○ 木曽川特別

木曽川（きそがわ）は、長野県中西部の鉢盛山に源を発し、飛騨川と合流して伊勢湾に注ぐ川。延長 229 km。下流には、水害から集落を守るため周囲を堤防で囲んだ「輪中（わじゅう）」と呼ばれる地帯が広がる。長良川、揖斐川とともに木曽三川と呼ばれている。

○ 香嵐渓特別

香嵐渓（こうらんけい）は、愛知県豊田市にある渓谷。江戸時代初期の寛永年間（1624～1643）に、香積寺の僧が植えたとされる数千本のカエデがある。清流と紅葉の名所であり、多くの観光客が訪れる。

○ サマースプリントシリーズCBC賞（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第2戦。

本競走は、昭和40年に創設された重賞競走。第1回は砂 1800mの競走として実施されたが、幾度かの変更を経て、56年に現行の芝 1200mとなった。その後も短距離競走路線の改善に伴い、実施時期や競走条件が変更され、現在はGⅢのハンデキャップ戦として実施されている。

CBC テレビは、名古屋市中区に本社を置く放送局でTBS系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

＜第3日＞

○ 茶臼山高原特別

茶臼山高原（ちゃうすやまこうげん）は、愛知県北東部に位置する高原地帯。標高 1,415 m の茶臼山を中心に広がり、一帯は天竜奥三河国定公園に指定されている。山頂付近は芝桜が群生しており、「芝桜の丘」と呼ばれている。

○ 濃尾特別

濃尾（のうび）は、岐阜県と愛知県にまたがる沖積平野。古くから水運に恵まれており、京都から東へ物資を運ぶ際の中継地として栄えた。現在は、中京工業地帯の中心として名古屋市中核に商工業が発達している。

○ 豊明ステーキス

豊明（とよあけ）は、愛知県中部の市。名は、酒造業を営んでいた伊藤家の屋号「豊倉屋」の「豊」と、当時の元号「明治」の「明」に由来する。桶狭間の古戦場跡があることで有名。

なお、同市は中京競馬場の所在地でもある。

＜第4日＞

○ 大府特別

大府（おおぶ）は、名古屋市南部に隣接する市。愛知用水を利用した農業が盛んで、巨峰やシャインマスカットなどぶどうの産地として有名。また、スポーツ活動に力を入れており、総合型スポーツクラブ「OBU エニスポ」では様々なスポーツ教室が開かれている。

○ 有松特別

有松（ありまつ）は、名古屋市緑区の町。同地の名産品の有松絞は、東海道を往来する旅客の土産品として珍重され、昭和 50 年には県下第 1 号の伝統的工芸品に指定されている。

○ プロキオンステーキス（GⅢ）

本競走は、平成 8 年に創設された重賞競走。当初は 4 月中旬に実施されていたが、12 年より 6 月中旬、18 年より 7 月上旬に移設され、現在に至っている。

プロキオン（Procyon）は、こいぬ座のアルファ星で、シリウス、ベテルギウスとともに「冬の三大角」を形作る恒星。

＜第5日＞

○ マカオジョッキークラブトロフィー

マカオジョッキークラブは、1987年にマカオ政府の許可を得て設立された競馬統括団体。同クラブは、廃止となったマカオトロッティングクラブのタイパ競馬場を購入し、1989年からサラブレッドによる競馬を始めた。当初はダートコースのみで実施されていたが、90年には芝コースとナイター用の設備も整い、現在の体制が出来上がった。

○ インディアトロフィー

インドは、アジア南部、インド半島の大部分を占める共和国。首都ニューデリー。同国における競馬は、1777年に英軍将校がアラブ種に騎乗して行われたことが始まりとされており、現在は6つのクラブ組織がそれぞれの地域における競馬を統括している。日本との交流は、1968年に種牡馬としてハクチカラ号を寄贈したことに始まり、第1回ジャパンカップには同国からオウンオピニオン号が出走している。

○ マレーシアカップ

マレーシアは、東南アジア、マレー半島南部とボルネオ島北部を占める連邦制の国。首都クアラルンプール。同国では、19世紀後半にシンガポールと一体で競馬が行われるようになった。その後、1864年にペナン、1896年にセランゴール、1926年にペラの3つのターフクラブが設立された。現在も同ターフクラブによって競馬が実施されている。

＜第6日＞

○ タイランドカップ

タイは、インドシナ半島中央部を占める立憲王国。首都バンコク。現在、同国における競馬はロイヤルバンコクスポーツクラブによって実施されている。

○ フィリピントロフィー

フィリピンは、東南アジア、フィリピン諸島を占める共和国。首都マニラ。同国における競馬は、1867年にマニラ・ジョッキークラブが結成されたことに始まる。翌年、同クラブはマニラにサンラザロ競馬場を建設。また、1937年には現在のフィリピン・レーシングクラブが結成され、サンタアナパーク競馬場を設立した。現在は、いずれの競馬開催も政府から分離独立したフィリピン・レーシング・コミッションにより統括されている。

○ 名鉄杯（L）

名鉄（めいてつ）は、名古屋鉄道株式会社の略称。名古屋市を中心として愛知、岐阜両県にまたがる路線を持ち、沿線には中京競馬場の最寄り駅である中京競馬場前駅がある。同競馬場のスタンド東側には名鉄の元特急電車 7000 系パノラマカーを保存展示した『パノラマステーション』が設置されている。なお、本競走は同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ シンガポールターフクラブ賞

シンガポールターフクラブは、1842 年に設立された競馬統括団体。1933 年にブキティマに競馬場を開場した後、99 年に克蘭ジに移転し現在に至っている。国際競走として実施されていた『インターナショナルカップ』及び『インターナショナルスプリント』は 2015 年に廃止されたが、18 年より『克蘭ジマイル』が国際招待競走として実施されている。

<第 7 日>

○ スポーツ報知杯中京 2 歳ステークス

本競走は、昭和 35 年に『3 歳優勝競走』から改称され創設された競走。夏季の 2 歳馬競走充実の観点により、平成 24 年に 12 月から 7 月に移設され、現在に至る。

スポーツ報知は、報知新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同紙の中部版を発行している読売新聞中部支社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 日進特別

日進（にっしん）は、名古屋市と豊田市に隣接した愛知県中央部の市。古くは国内屈指の窯業生産地として栄え、現在は名古屋市のベッドタウンとして宅地化が進むとともに、多くの大学が立地する学園都市として発展を続けている。

○ 桶狭間ステークス

桶狭間（おけはざま）は、愛知県豊明市と名古屋市にまたがる地域にある古戦場。永禄 3 年（1560）、織田信長が、上洛を目指していた今川義元を破った地として知られている。

<第 8 日>

○ 長久手特別

長久手（ながくて）は、愛知県北西部の市。名古屋市に隣接しており、徳川家康と豊臣秀吉が戦った小牧・長久手の戦いの古戦場跡がある。愛知万博の開催地でもあり、現在は跡地に「愛・地球博記念公園」が建設され、万博の事績が残されている。

○ 尾頭橋特別

尾頭橋（おとうばし）は、愛知県名古屋市の地名。名は、約 1400 年前に雷のお告げで生まれた男児の頭にへビが巻きつき、そのへビの尾と頭が後方に垂れ下がっていた事に由来する。

なお、同地には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ名古屋がある。

○ サマーマイルシリーズトヨタ賞中京記念（GⅢ）

全 3 戦で実施されるサマーマイルシリーズの第 1 戦。

本競走は、昭和 28 年に行われた『中京開設記念』を翌年に改称して創設された重賞競走。中京競馬場で最も古い歴史を誇る重賞競走である。

トヨタ自動車株式会社は、愛知県豊田市に本社を置く自動車メーカー。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。